

授業科目 コンピュータシステム II

【担当教員名】 本間 久文		対象学年	2	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要】 コンピュータを利用する際に必要になるソフトウェアについて学ぶ。オペレーティングシステムの構成と機能、ファイルシステム、セキュリティ技術などについて学習する。					
【学習目標】 ・コンピュータにおけるプログラム言語の役割について理解し、主なプログラム言語について特徴を説明できる。 ・オペレーティングシステムの構成と機能について理解し、その特徴について説明できる。 ・ファイルとデータベースの機能と役割について説明できる。 ・セキュリティ、マルチメディアの基本について理解する。 ・コンピュータに関する法制度とガイドラインについて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソフトウェアの種類				
2	パソコンのソフトウェア				
3	プログラムの必要性				
4	プログラム言語				
5	言語プロセッサ				
6	プログラムとプログラミング				
7	ソフトウェア開発				
8	ソフトウェア設計				
9	プログラムテスト				
10	OS				
11	Windows の基礎				
12	OS の構成				
13	タスク管理				
14	記憶管理				
15	ファイル管理				
16	運用管理				
17	ファイルとデータベース				
18	データベースの設計と運用				
19	データベースの利用				
20	データベースの保守と制御				
21	ネットワークとプロトコル				
22	LAN				
23	インターネットの利用				
24	ネットワークサービス				
25	情報セキュリティ				
26	マルチメディアと画像処理				
27	情報と法制度				
28	ガイドライン				
29	信頼性と認証技術				
30	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		図解コンピュータ概論改訂2版「ソフトウェア・通信ネットワーク」	橋本洋志 他	オーム社	2004・2,625 円
参考書		オペレーティングシステムの仕組み	河野健二	朝倉書店	2007・3,360 円
その他の資料		プリント配布			
【評価方法】 ・出席状況、授業態度、課題提出状況、試験等の内容により総合的に評価する。			【履修上の留意点】 ・配布されたプリントを中心に授業を展開する。また、各自で参考書を購入したり図書館の蔵書を利用するなどにより、内容の理解に努めることを望む。 ・適宜、確認テストを実施する予定なので、常に学習する努力を惜しまないこと。		